

第3次大阪府文化振興計画の平成25年度の主な施策・取組み(平成25年3月)

基本方向A「文化創造の基盤づくり」

①「大阪の街を使いこなす」～都市全体を発表の場に！

施策・取組み	概要
おおさかカンヴァス推進事業	大阪のまち全体を「カンヴァス」に見立てアーティストの発表の場として活用することにより、大阪の新たな都市魅力を創造・発信する。
府庁本館活用事業	府庁本館を芸術文化活動の場として提供し、文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進する。
御堂筋の魅力創造・発信事業 (御堂筋kappo、御堂筋フェスタ)	大阪のシンボルである御堂筋を歩行者に開放し、各種のイベントを実施することにより、御堂筋の魅力を国内外に発信するとともに、一層のにぎわいの創出を図る。
水と光とみどりのまちづくり推進事業	水と光の魅力で世界の都市間競争に打ち勝つ「水と光の首都大阪」の実現に向け、新たな推進体制を構築し、より強力に、水辺の魅力向上とにぎわいづくりのプログラム展開や基盤整備を推進する。

②「府民の思いを都市づくりに活かす」～官民協働のプラットフォーム

施策・取組み	概要
江之子島文化芸術創造センター 管理運営事業	文化芸術の創造及び振興を図るため、現代美術センターが担ってきた貸展示室の機能や府所蔵美術作品の収蔵、展示、貸出等の機能も継承しながら、アーティストやデザイナー、府民、NPO、大学、企業等の多様な個人や組織が自由な創作活動を行う拠点施設として運営する。
プラットフォーム形成支援事業	多様な立場の組織や人が集まり、対等な立場で交流・対話を行い、公共空間の利活用、地域の活性化、街づくりなどの課題に対して、アートやデザイン等をツールとして、解決策を検討し提案する官民共同の体制づくりを支援する。
水と光とみどりのまちづくり推進事業 (再掲)	水と光の魅力で世界の都市間競争に打ち勝つ「水と光の首都大阪」の実現に向け、新たな推進体制を構築し、より強力に、水辺の魅力向上とにぎわいづくりのプログラム展開や基盤整備を推進する。

③「府民の力で文化を育てる」～民間の力を最大限に活かす仕組みづくり

施策・取組み	概 要
OSAKAメセナカードの発行	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行する。
メセナ自動販売機の設置	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上の一定割合を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」を設置促進する。

基本方向B「都市魅力の向上」

④「地域資源を活かした大阪の魅力向上」～大阪ミュージアム構想の推進

施策・取組み	概 要
「大阪ミュージアム構想」の推進	<p>大阪のまち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を活かした府民参加・地域主体のまちの魅力づくりを促進し、府民をはじめ、市町村・企業・地域団体とともに、大阪の魅力・集客力・地域力の向上をさらに進め、『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』の実現を目指す。</p> <p>A. 地域の魅力づくり・魅力発信支援施策</p> <ul style="list-style-type: none">①ホームページ等による大阪の魅力発信 ― 府内外に広域的に情報発信②スマートフォンに対応した大阪の魅力発信 ― 既存の媒体と合わせてメディアミックスで情報発信！③大阪ミュージアム基金を活用した恒常的なまちの魅力向上支援 ― 地域・府民主体のまちの魅力づくりを支援！ <p>B. まちの魅力アップ・情報発信施策</p> <ul style="list-style-type: none">①OSAKA LOVERS CMコンテスト ― 府民らの目線で大阪の魅力を発信！②いいデザイン100プロジェクト ― 様々なデザイン募集情報をクリエイターに発信！③イベントミックスの推進 ― まちの魅力を再編集し、大阪の魅力を強化・向上！ <p>C. 大阪ミュージアム交流会</p>

⑤「大阪固有の文化の継承、新たな文化の創造」

施策・取組	概要
上方演芸資料館における演芸資料の収集・保存・活用	上方演芸に関する資料の散逸を防ぎ、後世に引き継ぐため、資料の収集・保存を行うとともに、演芸番組等の視聴サービスや、市町村、大学等と連携した資料展示研究などを通じて、府民に上方演芸に親しむ場等を提供する。
大阪文化再発見事業	大阪文化への自信と誇りを取り戻すため、民間企業、大学、市町村及びNPO等と連携した体験型講座やまち歩きの実施、電子媒体による文化情報の発信など、様々な手法を使って「大阪文化」に関する情報を発信する。
芸術文化顕彰事業	大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方の顕彰等により、大阪の文化振興の機運醸成や都市魅力のアピールを行う。 (大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片蟠桃賞)
観光振興の推進	来阪旅行者数の増加及び、大阪経済の活性化など、大阪の観光戦略の実現に向け、大阪府・大阪市・経済界が連携して、大阪の観光集客の推進組織である「大阪観光局」を平成25年4月に発足させ、マーケティングリサーチやプロモーション、受入環境の整備、国際会議等の誘致などに努めるほか、他府県との連携による教育旅行誘致など様々な観光振興事業を行う。
大阪府文化資産デジタルアーカイブ事業	府が保有する貴重な文化資産を後世に残していくため、最新の超高精細デジタル画像データでアーカイブ(保存)するとともに、このデジタル画像データを活用して広く国内外に向けて大阪文化の情報発信を行い、さらに、その利活用を通じて新たなビジネスの創出を図る。
なにわの伝統野菜の振興	古くから大阪の食文化を支えてきた「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組む。また、平成17年10月に創設した「なにわの伝統野菜認証制度」を活用し、「なにわの伝統野菜」の生産振興と消費拡大を図る。
「大阪人権博物館」「大阪国際平和センター」における資料収集と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○人権に関する資料を収集保存、公開している大阪人権博物館が行う事業について、適宜、紹介するなど、人権思想の普及と、豊かな人権感覚を育む「人間教育」の推進、人間性豊かな文化の発展に貢献する。 ○戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行う大阪国際平和センターに補助を行い、府民の平和意識の醸成を図る。
文楽伝承事業	大阪が世界に誇る伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の保存継承事業を行う(公財)文楽協会に補助を行い、技芸の伝承とともに鑑賞機会の充実等を図る。
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進事業	大阪が世界に誇る貴重な歴史遺産である百舌鳥・古市古墳群を人類の宝として確実に未来に継承し守るとともに、歴史と文化を活かしたまちづくりを推進するため、世界文化遺産登録に向けた取組みを進める。

⑥「エンターテインメントによる都市の活性化」～ひと・モノ・投資を呼び込む

施策・取組み	概 要
万博記念公園事業移管推進及び南側ゾーン活性化事業	万博記念公園事業を管理運営している独立行政法人日本万国博覧会記念機構については、平成 26年3 月末の廃止に向けて取組みが進められていることから、その後の府移管に向けた準備を進めるとともに、南側ゾーン(エキスポランド跡地)において、民間のノウハウと資金を活用して地域の賑わい創出や地域経済の活性化を図る。
統合型リゾートの大阪立地プロモーション推進事業	国におけるカジノ法制化に向けた動きを踏まえ、専門家の意見も聞きながら、大阪の統合型リゾート(IR)立地に向けた基本コンセプトづくりや府民コンセンサス形成に向けた取組みを実施する。
大阪マラソン	3万人のランナーが大阪のランドマークを駆け抜ける「第3回大阪マラソン」を実施する。大阪マラソンはランナーだけでなく、府民をはじめ多くの方々にも楽しんでいただける大阪を挙げての「お祭り」。大阪の元気な姿や都市魅力を国内外に大きく発信する。
「'13食博覧会・大阪」活用事業	平成 25年4 月開催の 2013 食博覧会の場を活用し、大阪の食ブランドのPR、都市魅力の発信等を行うことにより大阪食産業の振興を図る。

基本方向C「人と地域のエンパワーメント」

⑦「あらゆる施策に文化力を活用」

施策・取組み	概要
音楽を活用した感動提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校コンサート・・・府内の特別支援学校の生徒を国際障がい者交流センター(ビッグアイ)へ招待したり、支援学校に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート ・病院コンサート・・・入院、通院の患者等に生の音楽を聞く機会を提供するため、病院に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート
アートを活かした障がい者の就労支援事業	障がいのある方が創作した創造性豊かな、芸術性に溢れる絵画等の作品を「現代アート」として評価し、これをマーケットにつなげていくことにより、アーティストとしての自立に向けたチャレンジを支援するため、作品発表や作品販売等のシステム化について検討を行う。
障がい者芸術・文化促進事業	障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国際障がい者交流センター(ビッグアイ)の活用により様々な芸術・文化活動の機会を提供する。

⑧「未来を担う次世代の育成」～子どもの心に感動を！

施策・取組み	概要
芸術文化振興補助金	府内の芸術文化団体が行う次世代育成に資する文化活動に補助し、子どもや青少年が芸術や文化に親しむことによる心豊かな成長や、大阪の文化を担う人材のすそ野の拡大を図る。
音楽指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣音楽指導 … 府内の中学・高等学校等からの依頼に基づき講師を派遣して行う吹奏楽の合奏指導 ・管・打楽器講習会 … 管楽器、打楽器の演奏技術講習会
音楽体験事業	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチ・ジ・オーケストラ・・・子どもがオーケストラの楽団員とともに楽器に触れて音を出したり、オーケストラの中で演奏を聴き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できる日本センチュリー交響楽団によるコンサート ・星空ファミリーコンサート・・・オーケストラによる演奏に加え、指揮者体験コーナーやクイズなどへの参加ができる親子で気軽に楽しめる日本センチュリー交響楽団による野外コンサート ・特別支援学校コンサート・・・府内の特別支援学校の生徒を国際障がい者交流センター(ビッグアイ)へ招待したり、支援学校に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート
次世代育成型メセナ自動販売機設置事業	売上金の一部を活用して文化を通じた次世代育成事業を実施する次世代育成型メセナ自動販売機を設置する。(メセナ自動販売機:広く府民の方から寄付を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つ)

施策・取組み	概要
輝け！子どもパフォーマー事業	「メセナ自動販売機」「次世代育成型メセナ自動販売機」からの寄附金を財源として、文化に親しみ、参加、表現する機会を提供する事業のうち、子どもたち自身が参加し発表する事業に対して補助を行い、子どもたちの活発な文化活動を促進する。
「人材バンク」「プログラム集」の整備、情報発信	地域や学校での取組みを促進するため、次世代育成に関するプログラムやアーティストの情報を整備し、文化課のホームページなどで広く発信する。
フェスパ次世代シアター事業	咲洲庁舎の公開空地(フェスパ)を子どもたちが様々な文化・芸術に親しむ文化活動の場として提供する。
トップアスリート小学校ふれあい事業	府内小学校にプロ・アマのトップスポーツ選手・指導者を派遣し、児童と対話や技術指導を行うことで、スポーツに親しむ態度や習慣を身につけさせ、夢や希望を与える。
大型児童館ビッグバン事業	「遊び」をテーマに、子どもの豊かな遊びと文化創造の中核拠点として、「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を担う。
「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール	『青少年に「夢」と「チャンス」を与え、将来の技術者の育成に寄与するとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていく』ことを目的とし、小規模な公共建築物を題材に府内の高校生や専修学校生等からアイデアを募集し、グランプリに選定された作品の提案を活かして事業化を行う。
学校支援人材バンク	地域や社会などで活躍する優れた技能や専門的な知識を有する人を「学校支援人材バンク」に登録し、指導者として学校教育に広く協力いただくなど、活用を図る。
専門学科等支援事業	港南造形高校(美術、造形、工芸、デザイン等に関する幅広い技術等)、夕陽丘高校(音楽に関する専門的知識と技術等)、東住吉高校(能、狂言、歌舞伎、文楽等我が国の伝統芸能の基礎に関することや、落語や漫才等を中心とした笑い及びエンターテイメント等)の教育活動に各界で活躍するアーティスト等を招聘する。
出かける博物館事業 (府立弥生文化博物館、府立近つ飛鳥博物館)	考古資料などを通して弥生～古墳時代を初めとした歴史への関心と学習意欲を高めるための各種学習支援プログラムを用意し、小・中・高校への出前授業を行う他、さまざまな施設や団体と協働でワークショップや講演会を行い、大阪の歴史と文化を身近に体感してもらう。
学校de博物館事業 (大阪人権博物館(リバティおおさか))	学芸員が小・中・高校で博物館資料を活用した出前授業を行い、児童・生徒の豊かな情操や人間性、夢や理想の実現に向かって生きる力、志を持って自立していくために必要な能力、よりよい社会を創っていく態度等の育成に寄与する。
日本民家集落博物館「昔の暮らし」展示体験事業	移築復元した江戸時代民家においてボランティアが中心となって、小学生を対象に祖父母の時代の季節ごとの暮らしや遊びの語り聞かせ、体験活動を実施する。

⑨「文化振興への府民意識の醸成」

施策・取組み	概 要
なにわなんでも大阪検定	大阪が持つ歴史・文化の奥深さといった魅力を「再発見」する機会を提供し、大阪を深く知ることによる「郷土愛の醸成」を図ることを目的に実施する。
新たなわ塾	大阪府と大学が連携し、『大阪の足跡』をテーマにした講座を開催し、書籍化することにより、人々が大阪や大阪文化のことを学び、考える契機を提供する。
文楽伝承事業(再掲)	大阪が世界に誇る伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の保存継承事業を行う(公財)文楽協会に補助を行い、技芸の伝承とともに鑑賞機会の充実等を図る。
出かける博物館事業 (府立弥生博物館、府立近つ飛鳥博物館)(再掲)	考古資料などを通して弥生～古墳時代を初めとした歴史への関心と学習意欲を高めるための各種学習支援プログラムを用意し、小・中・高校への出前授業を行う他、さまざまな施設や団体と協働でワークショップや講演会を行い、大阪の歴史と文化を身近に体感してもらう。